

民泊経営に必要な知識・技能取得セミナー

事業実施の背景

本市には、首里城以前の中山王城として知られる浦添城跡をはじめ、様々な歴史的な文化資源が存在しているにもかかわらず、観光的な活用が進められておらず、市内外の認知度が低い状態にある。文化資源が有する歴史的な価値を活用し、積極的にソフト面を充実させ、その価値を理解してもらい、来訪者の満足度をあげていくことが必要となる。

前述のとおり、本市における観光振興を図るうえで課題の一つが「宿泊施設がない」ことが挙げられる。アンケート結果においても、69%の方が浦添市内「0泊」と回答している。これから滞在時間を延長させるためには、新たに宿泊施設を建設するだけでなく、既存施設の活用や民泊等を推進していく必要がある。特に「民泊」については、急増する宿泊需要の受け皿として有効であり、空き家問題の解決の一助としても注目されている。最近では、定年後のシニア層において、民泊経営を始める者も増えており、宿泊施設がほとんど無い本市においても有効であることが伺える。平成30年2月には、本市は民泊を活用して地域振興を目指す「合法民泊推進都市宣言」を全国で初めて行い民泊を推進している。民泊ビジネスを検討している高齢者向けに、民泊セミナーを開催することにより、知識の習得を図り民泊経営の不安要素の解消を図り、民泊の促進に繋げることが可能となる。

昨年度「民泊経営に必要な知識・技能取得セミナー」の様子

講師は、株式会社 クロトン代表取締役(一級建築士・宅建建物取引士・既存住宅状況調査技術者)下地 鉄郎 氏、物件調理人/沖縄県中小企業支援センター登録専門家 島袋 豊さんです。セミナーの目的は、民泊経営に必要な知識を取得し、民泊を活用した地域振興を目指すことです。今回のセミナーでは、宿泊事業に関する法的根拠の概論から、運営側の法的要件等で求められることを学びました。

また、実際に那覇市で民泊事業をされている「Holiday Home TSUBOYA」を見学させて頂きました。最後には、事業計画や予算の立て方についても学びました。



セミナーの様子



事業計画を立てる様子

昨年度、創業者実績3名!



Holiday Home TSUBOYA見学会の様子